

平成30年度 水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 給水人口は 271,103人で、前年度に比べ 2,031人減少しました。
- ・ 有収水量（料金を賦課した水量）は29,198,147 m³となりました。人口減少等に伴う長期的な水需要の減少傾向のため、前年度に比べ72,868m³減少しました。
- ・ 有収率（給水量のうち有収水量の割合）は87.0%で、前年度より0.1ポイント減少しました。

項 目	平成30年度	平成29年度	増 減	対前年比
給水人口（人）	271,103	273,134	△ 2,031	99.3%
給水量（m ³ ）	33,578,225	33,604,295	△ 26,070	99.9%
有収水量（m ³ ）	29,198,147	29,271,015	△ 72,868	99.8%
有収率（%）	87.0	87.1	△ 0.1	—

平成30年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

収益的収入及び支出 (税抜き)

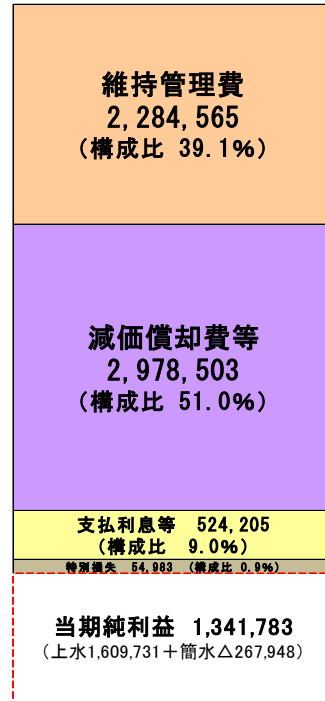
収入 7,184,039



その他収益 205,430
(構成比 2.9%)

- ・ 加入金 84,112
- ・ 負担金返還金 56,200
- ・ 手数料等 40,079
- ・ 受取利息等 25,039

支出 5,842,256



当期純利益 1,341,783
(上水1,609,731+簡水△267,948)

(減価積立金の使用による計上)
その他未処分利益剰余金変動額 1,188,606

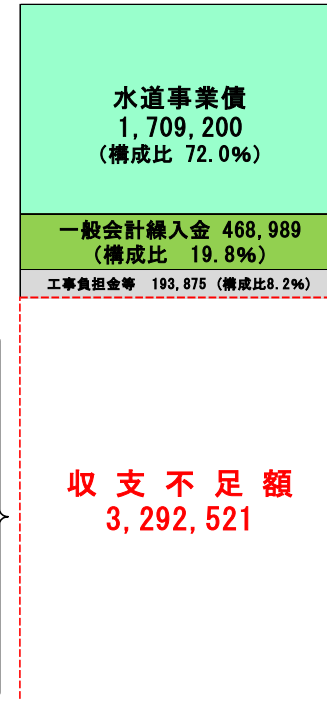
純利益等の処分(案)

令和元年9月議会に提出予定

- ① 当期純利益
 - ・ 減価積立金 1,023,783
 - ・ 建設改良積立金 318,000
 - ② その他未処分利益剰余金変動額
 - ・ 資本金への組入れ 1,188,606
- ※減価積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したものを。

資本的収入及び支出 (税込み)

収入 2,372,064



収支不足額 3,292,521

補填財源



補填後の内部留保資金残額 9,307,209

(損益勘定留保資金 7,807,209 + 建設改良積立金 1,500,000)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	5,300,407
現年度分	2,506,802

建設改良積立金の内訳

～28年度	1,185,000
29年度	315,000

平成30年度 下水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は 367,097人で、前年度に比べ1,960人減少し、水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は 354,420人で、前年度に比べ 439人増加しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.6%で、前年度より 0.1ポイント増加しました。
- ・ 契約件数は増加したものの、水需要の減少に伴い有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は 38,035,957m³となり、前年度に比べ29,252m³減少しました。

項 目	平成30年度	平成29年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	367,097	369,057	△ 1,960	99.5%
水洗化人口（人）	354,420	353,981	439	100.1%
人口普及率（%）	97.6	97.5	0.1	—
有収汚水量（m ³ ）	38,035,957	38,065,209	△ 29,252	99.9%

平成30年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

